

内容項目のちがいによる道徳科授業創りの特質はあるのか？

「道徳科授業を観（見）る」ことに焦点化した第10回オンラインセミナーに続いて、第11回オンラインセミナーでは「道徳科授業を創る」ことにスポットを当てます。

小・中学校学習指導要領において道徳の内容は四つの視点に区分され、例えば中学校では22の内容項目が示されています。これらの内容項目（あるいは視点）によって道徳科授業創りにちがいはあるのでしょうか。ちがいがあれば、それは何に依るものであり、実際の授業場面にどのように反映されるのでしょうか。「児童生徒の発達の段階」や「教材のストーリー構成」、「教師・児童生徒／児童生徒同士の間関係」ではなく「内容項目」との関わりから道徳科授業創りを検討すること。これが今回のテーマです。

当日は、文部科学省教科調査官の井上結香子先生による基調説明を通して学習指導要領に示された内容項目の構造やその歴史的背景を確認し、議論の基盤を整えます。そのうえで、内容項目全般あるいは個別の内容項目と道徳科授業についての提案発表をもとに、道徳科授業創りの新たな展開を探っていきます。

■ 日時・スケジュール

2025. 1/26 (日) 13:00～16:00

Web 会議システム
(Zoom) を使用

13:00～13:05	開会のあいさつ	会長 谷田 増幸 (兵庫教育大学)
13:05～13:10	趣旨説明	
13:10～13:40	基調説明：「内容項目」について	井上 結香子 (国立教育政策研究所・文部科学省)
13:40～14:40	提案発表	星 美由紀 (福島県郡山市立郡山第三中学校) 藤永 啓吾 (山口県教育委員会) 高宮 正貴 (大阪体育大学)
14:40～14:50	休憩	
14:50～15:55	提案者による座談会・質疑応答	コーディネーター 日向 正志 (金沢工業大学)
15:55～16:00	閉会のあいさつ	副会長 堺 正之 (九州女子大学) 全体進行 澤田 浩一 (國學院大學)

■ 参加方法

- ▶ 本セミナーは、日本道徳教育方法学会の学会員限定です。非会員の方は参加できません。
- ▶ Zoom ミーティング情報ならびに参加にあたりご注意ください事項を裏面に記載しています。事前に必ずご確認の上、ご参加ください。
- ▶ 資料は、当日、チャットを通じて配付します。